



平成20年3月期 中間決算説明資料

平成19年11月29日

トーイン株式会社



証券コード：7923

平成20年3月期 中間決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当中間期の業績については、包装資材事業は、営業体制を充実強化するとともに生産効率向上のための各種施策を推進してまいりましたが、包装資材の商品販売の減少などにより、売上高は前年同期比0.4%減の4,481百万円となりました。精密塗工事業は、前事業年度において既存得意先の精密塗工製品の在庫調整により大幅に減少した受注について、新規客先及び新規分野の需要先を積極的に開拓したことにより、拡大基調を回復することができ、売上高は前年同期比55.3%増の767百万円となりました。その他事業は、販促品の商品販売の低迷や野田事業所の受託包装が伸び悩んだことなどにより、売上高は前年同期比8.7%減の342百万円となりました。

この結果、当中間期の全体の売上高は、前年同期比4.1%増の5,591百万円となりました。

利益面については、包装資材事業は、生産効率の向上及び原材料の海外調達による原価低減や諸経費の削減などの合理化を推進してまいりましたが、原材料等の値上げに対する適正な販売価格への改定を十分に実施できなかったこと、収益性の低い部門の改善が計画どおりに進まなかったこと、また、その他事業は、総じて収益が低迷したことなどが減益要因となる一方、精密塗工事業は、積極的な営業活動の展開、品質及び生産効率の向上に努めてきたことにより増益基調となったものの、全体としては収益が低下した部門の落ち込みを吸収するには至らず、営業損益は前年同期比97百万円減の38百万円の損失、経常損益は前年同期比99百万円減の52百万円の損失、中間純損益は前年同期比91百万円減の41百万円の損失となりました。

平成20年3月期 中間損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (H19/9)		前中間期 (H18/9)		対前年同期比	備 考
売 上 高	5,591	% 100.0	5,368	% 100.0	222	精密塗工の売上増
売 上 原 価	4,931	88.2	4,609	85.9	322	諸材料価格の上昇など
売 上 総 利 益	659	11.8	759	14.1	△99	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	698	12.5	700	13.0	△1	
営 業 利 益	△38	△0.7	58	1.1	△97	
営 業 外 収 益	21	0.4	21	0.4	0	
営 業 外 費 用	35	0.6	34	0.6	1	
経 常 利 益	△52	△0.9	46	0.9	△99	
特 別 利 益	2	0.0	1	0.0	0	
特 別 損 失	6	0.1	16	0.3	△10	
中 間 純 利 益	△41	△0.7	49	0.9	△91	

平成20年3月期 中間貸借対照表

	当中間期 (H19/9)		前中間期(H18/9)		対前年同期比	備 考
		%		%		
流動資産	6,805	42.6	7,921	44.6	△1,116	現預金の減少
固定資産	9,182	57.4	9,826	55.4	△644	
有形固定資産	7,180	44.9	7,746	43.6	△565	減価償却累計額の増加
無形固定資産	36	0.2	27	0.2	9	
投資その他の資産	1,965	12.3	2,052	11.6	△87	
《資産合計》	15,987	100.0	17,747	100.0	△1,760	
流動負債	4,285	26.8	5,641	31.8	△1,355	設備購入支払手形の減少
固定負債	2,589	16.2	2,843	16.0	△253	長期借入金・繰延税金負債の減少
《負債合計》	6,875	43.0	8,484	47.8	△1,609	
株主資本	8,803	55.1	8,917	50.3	△113	
資本金	2,244	14.0	2,244	12.7	—	
資本剰余金	2,901	18.2	2,901	16.4	0	
利益剰余金	4,113	25.7	4,231	23.8	△117	固定資産圧縮積立金の減少
自己株式	△456	△2.8	△460	△2.6	3	
評価・換算差額等	307	1.9	344	1.9	△36	
《純資産合計》	9,111	57.0	9,262	52.2	△150	
《負債 純資産合計》	15,987	100.0	17,747	100.0	△1,760	

平成20年3月期 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

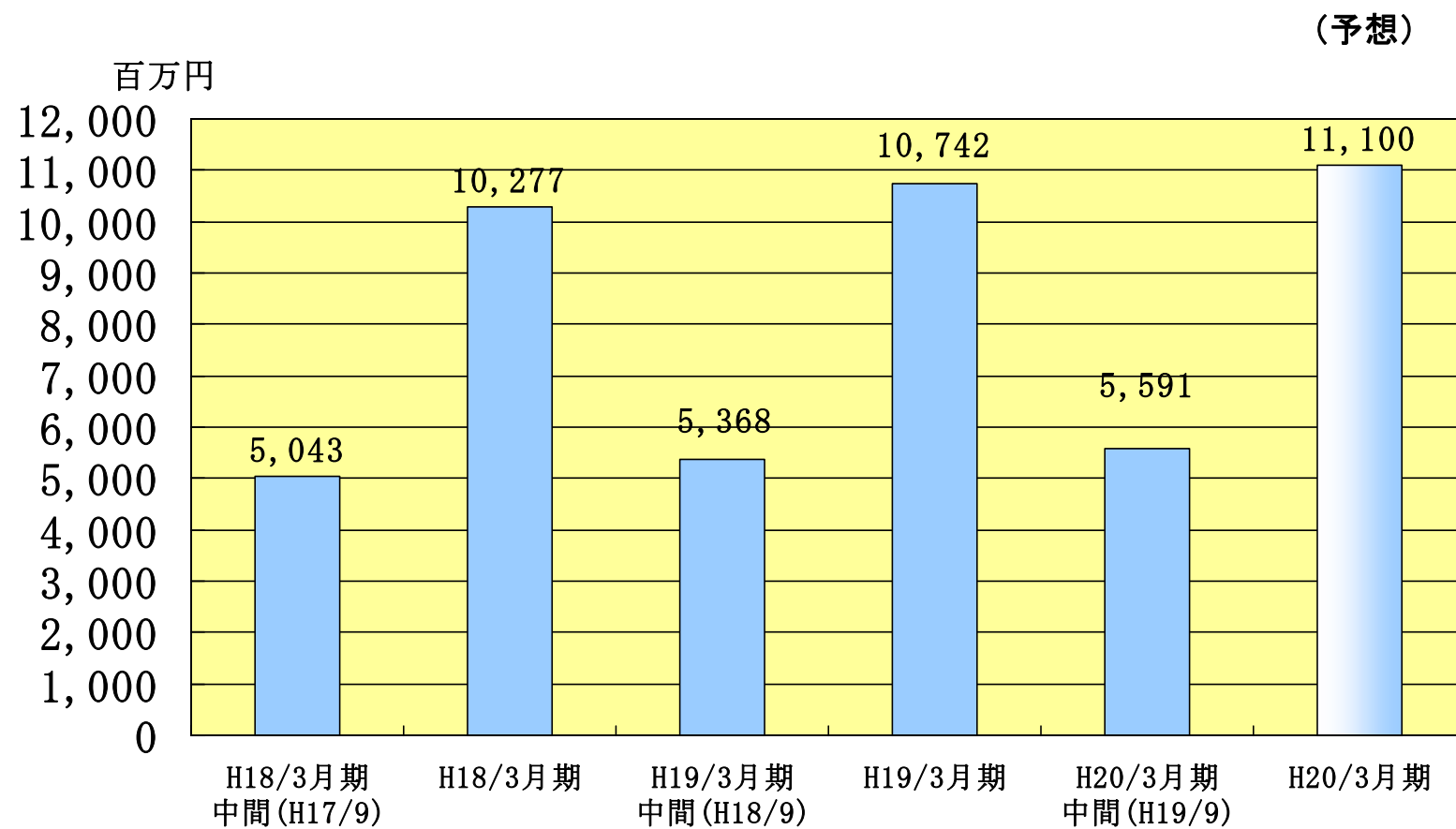
	株主資本							計	評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余 金	利益剰余金			計	自己 株式			
			利益 準備 金	その他利益剰余金						
				任意 積立金	繰越利益 剰余金					
H19年3月31日 残高	2,244	2,901	369	3,488	381	4,238	△457	8,927	356	9,284
中間会計期間中の変動額										
固定資産圧縮積立金取崩				△27	27	—		—		—
剰余金の配当					△83	△83		△83		△83
中間純損失					△41	△41		△41		△41
自己株式の取得							△0	△0		△0
自己株式の処分		0					1	1		1
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）									△48	△48
中間会計期間中の変動額合計	—	0	—	△27	△97	△125	1	△124	△48	△172
H19年9月30日 残高	2,244	2,901	369	3,460	284	4,113	△456	8,803	307	9,111

平成20年3月期 中間キャッシュ・フロー計算書

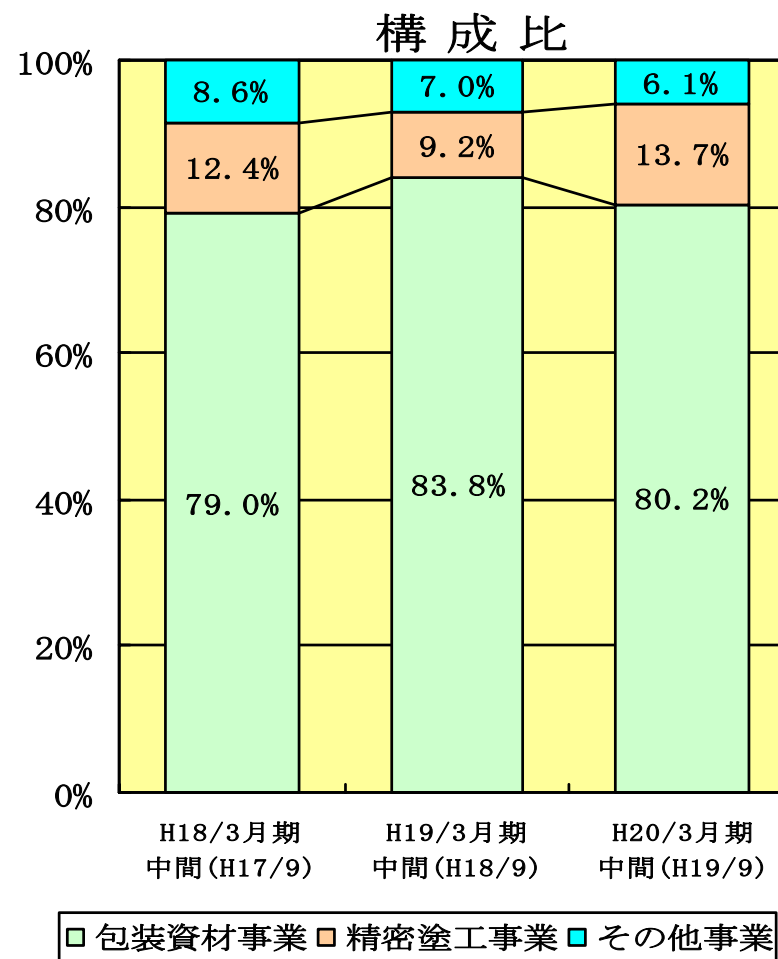
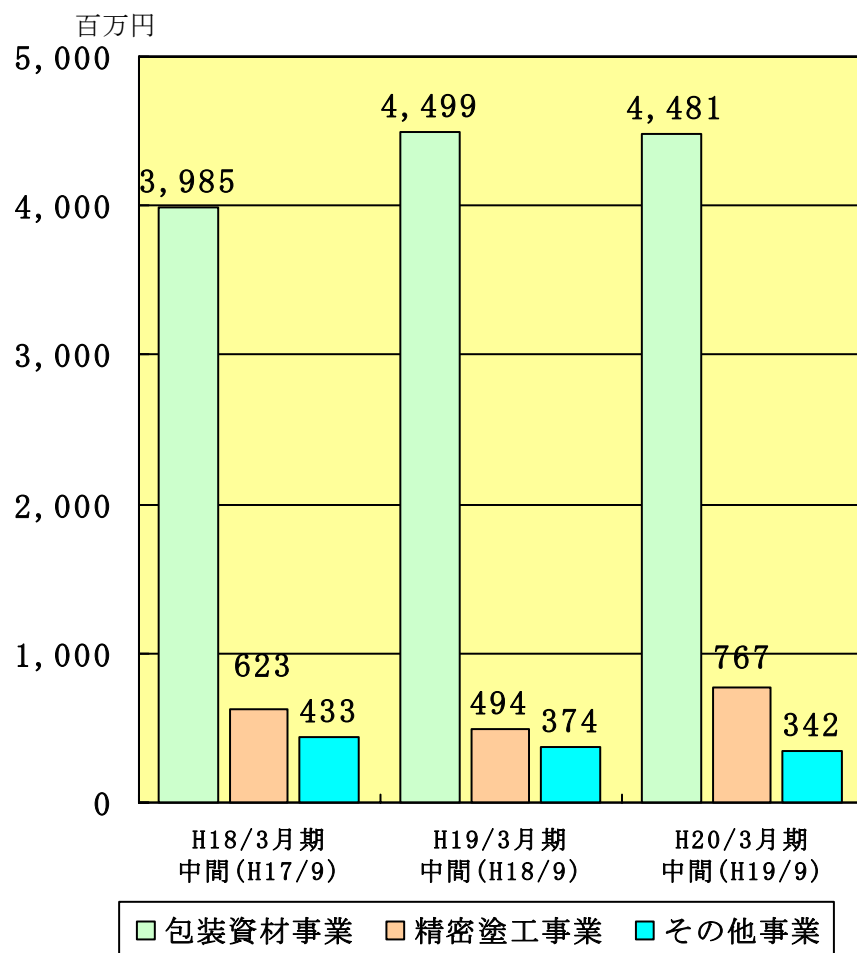
(単位：百万円)

	当中間期 (H19/9)	前中間期 (H18/9)	当中間期の特記
営業活動による キャッシュ・フロー	32	△135	減価償却費 438百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△85	△249	有形固定資産取得による支出 89百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	67	354	長期借入による収入 400百万円 長期借入金返済による支出 241百万円
現金及び現金同等物 の増減額	15	△30	
現金及び現金同等物 の期首残高	1,861	2,717	
現金及び現金同等物 の中間期末残高	1,876	2,687	

売上高の推移

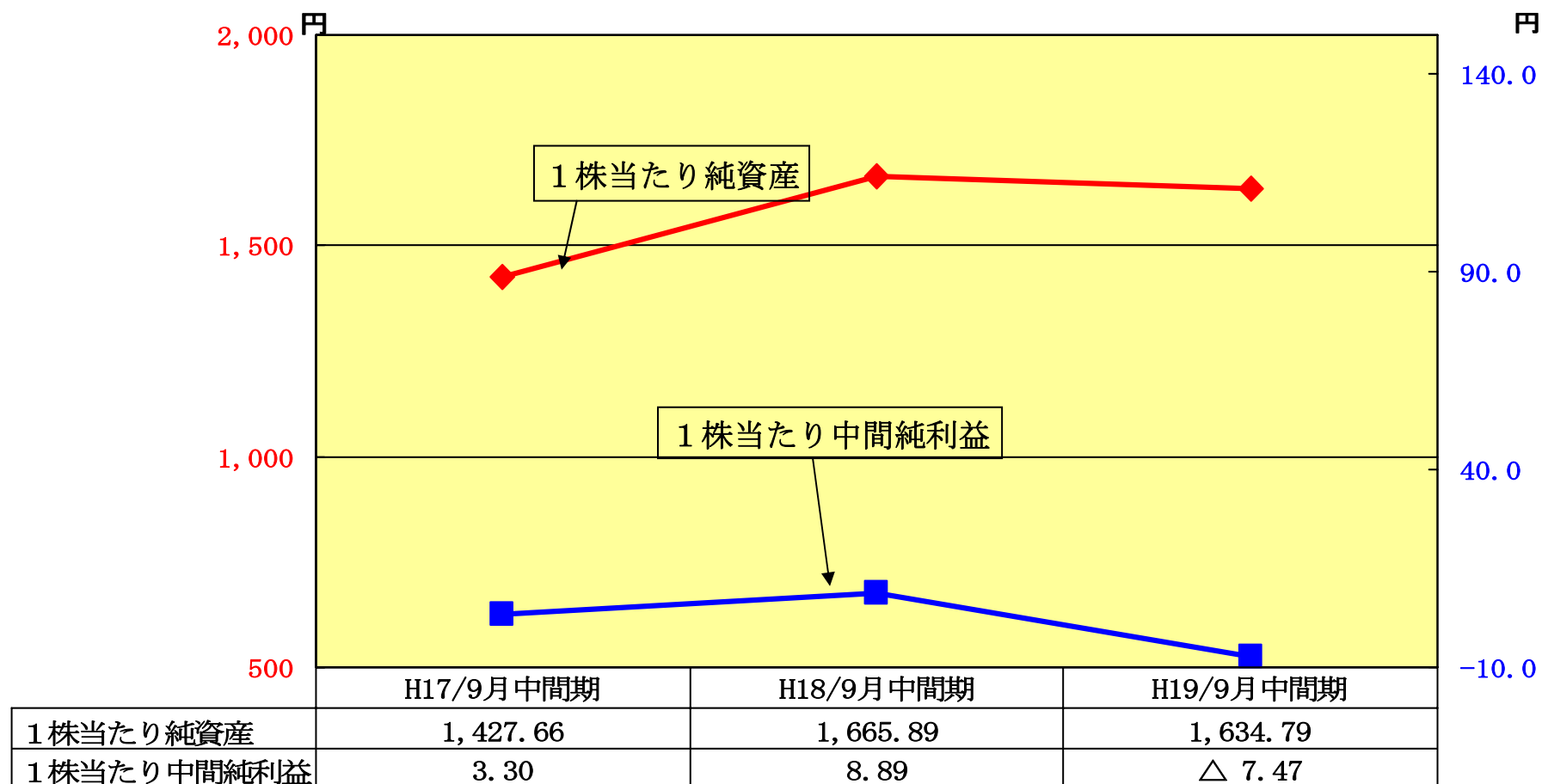


事業別 売上高

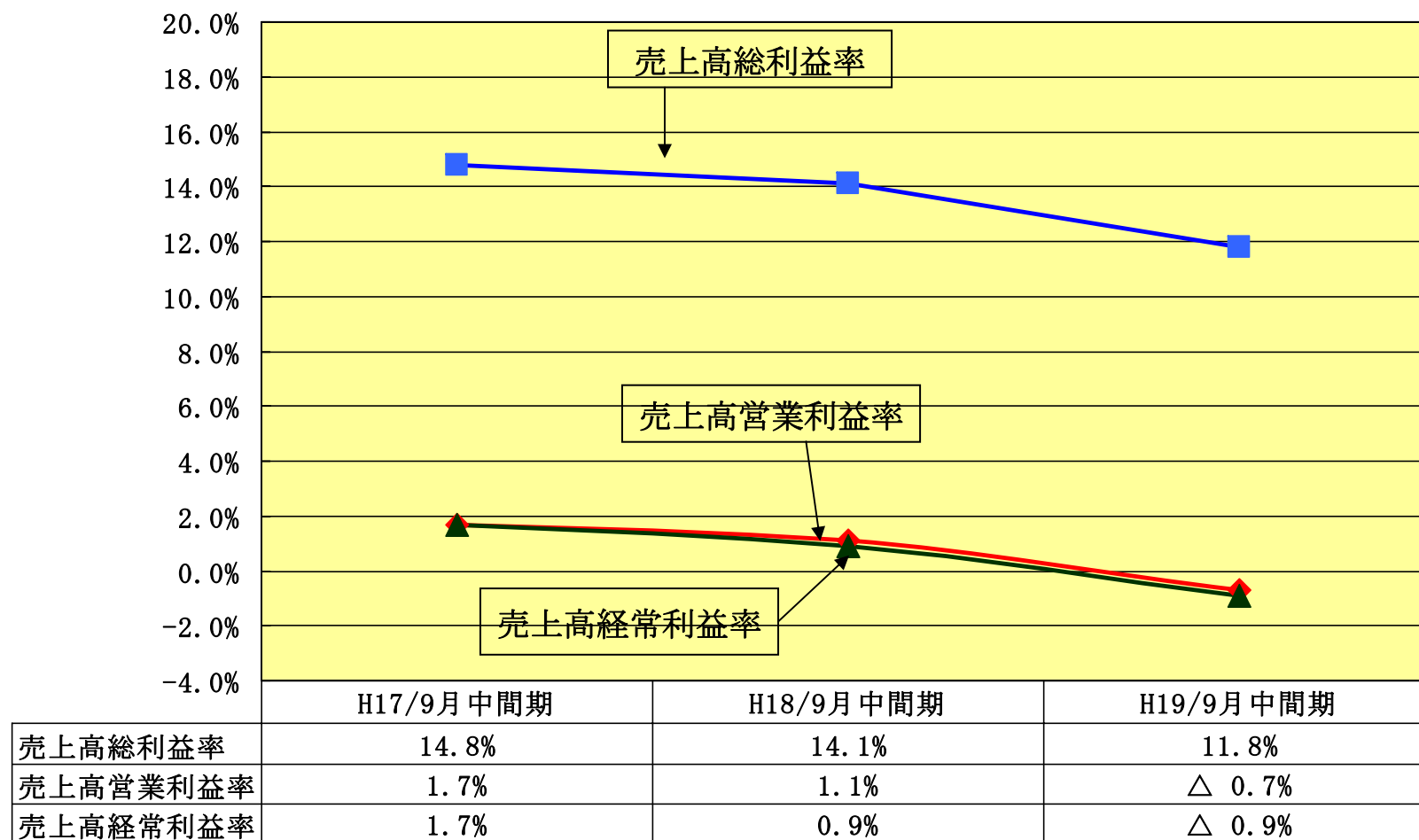


經營指標

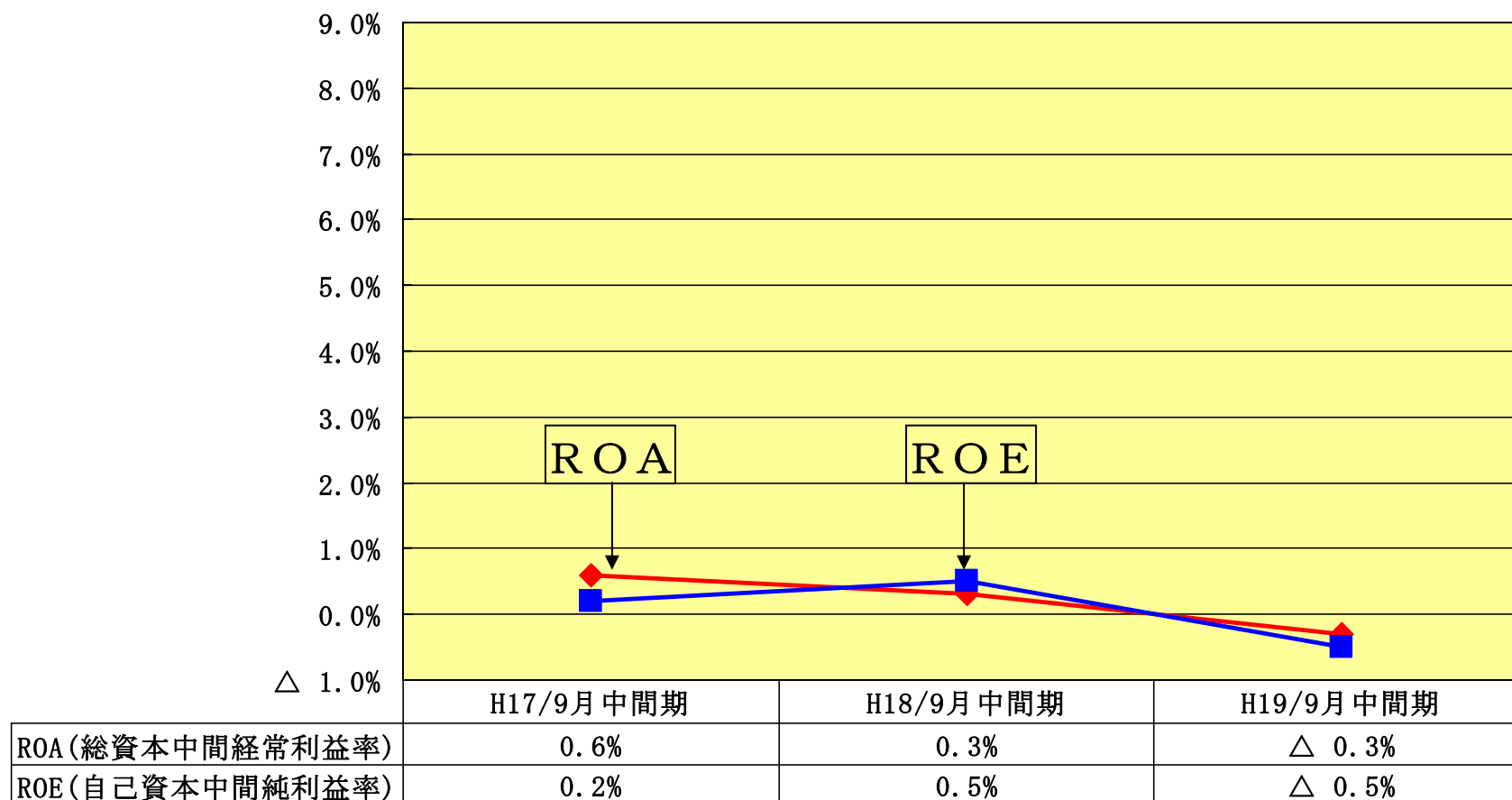
経営指標 I



経営指標Ⅱ



経営指標Ⅲ



平成20年3月期 業績予想

平成20年3月期の業績予想について

今後のわが国の経済は、米国経済の減速懸念、原油や諸材料等の価格の上昇、個人消費の伸び悩みなど懸念材料があるものの、引き続き緩やかな拡大基調が持続することが予想される一方、包装資材業界においては、価格競争の激化や原材料等の価格上昇による製造コストの増加など、先行き不透明な厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社は、原材料をはじめとする諸材料等のさらなる値上げに対する適正な販売価格への改定や合理化を推進するとともに、一層の経営体制の強化と経営の効率化に努め、収益力向上のために事業分野ごとの重要課題の解決と有効な諸施策を実行し、生産性の向上並びに生産管理及び品質管理体制の充実強化を図ってまいります。

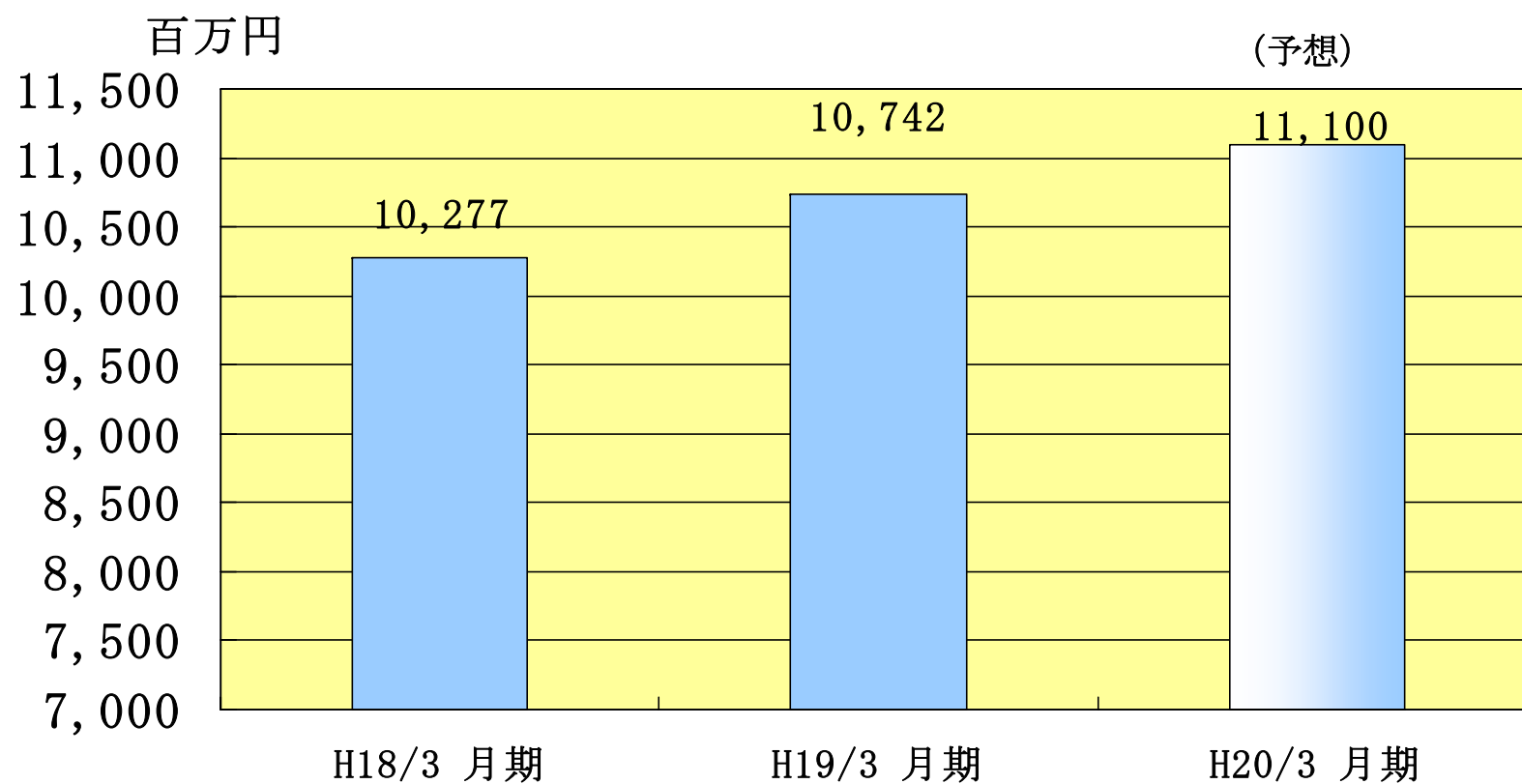
通期の業績につきましては、売上高11,100百万円、営業利益50百万円、経常利益10百万円、当期純利益20百万円の見通しであります。

平成20年3月期の業績予想

(単位：百万円)

	上期(実績)		通期(予想)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	5,591	100.0 %	11,100	100.0 %
営業利益	△38	△0.7	50	0.5
経常利益	△52	△0.9	10	0.1
当期純利益	△41	△0.7	20	0.2

通期売上高

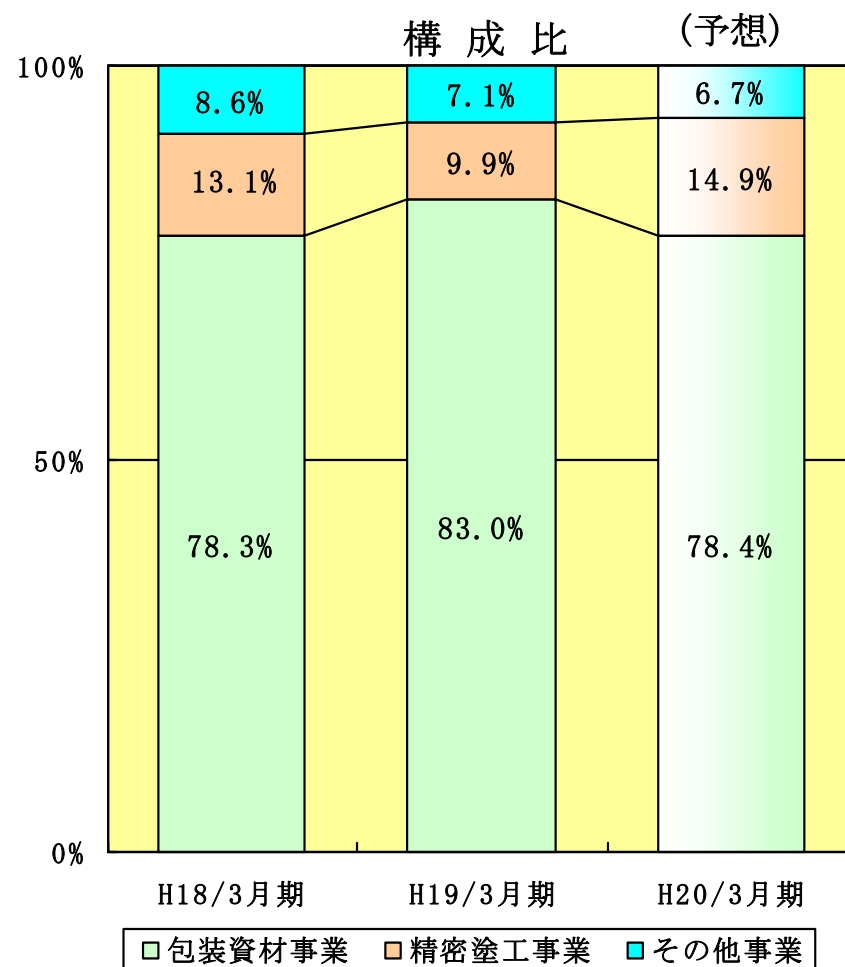
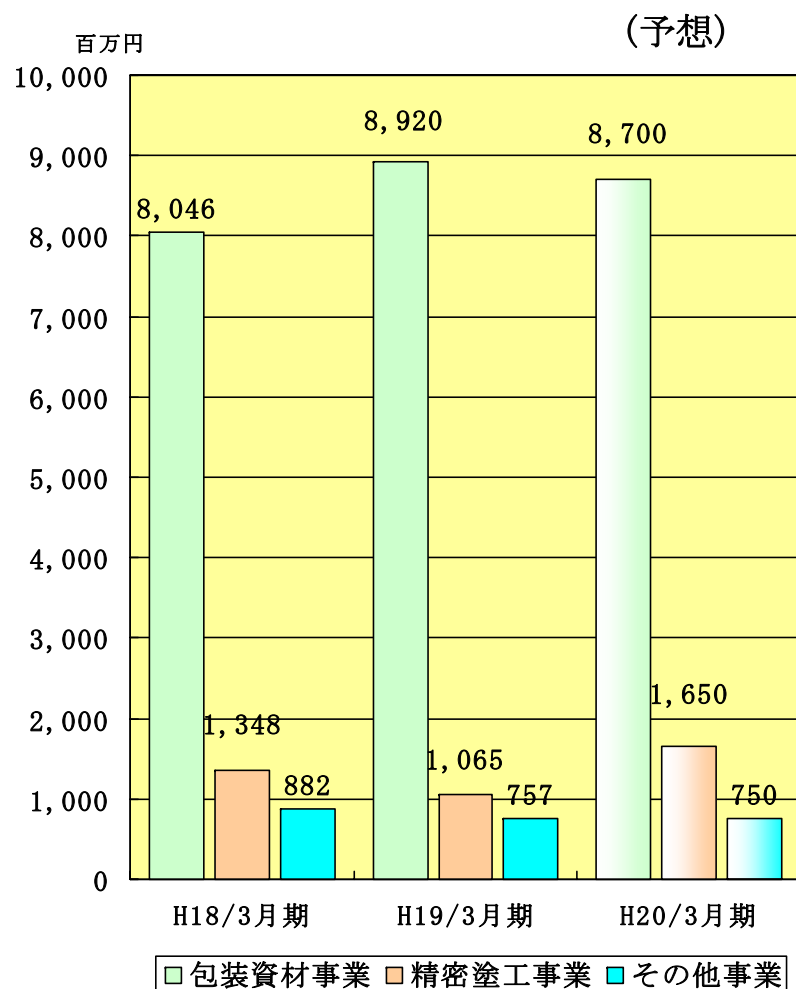


事業区分の変更について

事業区分について、平成19年3月期までは「包装資材事業」「精密機器関連事業」の2区分で表示しておりましたが、事業内容が多様化するとともに精密塗工事業の重要性が増してきたことに伴い、事業区分別情報の有用性を高めるため、平成20年3月期から以下の3区分に変更いたしました。

- ・「包装資材事業」 紙器、樹脂パッケージ、ラベル、説明書等
- ・「精密塗工事業」 電子部材、記録媒体、建材等
- ・「その他事業」 食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セット、販促品等の商品販売

事業別 売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追え | それが皆の幸福につながる |

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーイン株式会社

●本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

●東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

●野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

●本資料に関するお問合せ

経営企画部門 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131